

日本保健物理学会「教員等協議会・若手研・学友会」代表者会議（第13回）

日時：令和3年8月4日（水）9時-10時

参加者：（教員等協議会）飯本（理事）、安岡（理事）

（若手研）迫田（理事）、廣田（参与）、辻、渡邊、中畠

（学友会）小池、福田

概要：

●今後の予定

- ・中長期的には、2023年のICRPシンポジウムに向け、12月の合同大会、来年の保物の研究発表会を経てICRPシンポジウムの企画を築き上げていければ良い。海外との連携での企画もできる。

●エックス線被ばく事故検討WG

- ・調査WGではなく検討WGである。当初の活動としては、公開情報を基に、産業界で起こり得る事故を想定し、その予防や事故後の対応を検討する。その後、事故の詳細が明らかになったとき、これらの想定を超えたことが起きていたのかどうかを検証する。
- ・第1回会合は8月6日。原則、公開できる（公開されている）資料のみを使用する。議事録を学会HPで公開する。
- ・会の進行は山口幹事または古渡副委員長が担当予定。
- ・「提言」を求める声がWGに届いている。最終的にはそれに近いものを出せるようにしたい。その提言は、上記（想定を超えていたのかどうか）を踏まえた、学会員向けへの提言になるのではないか。
- ・現時点では流動的なWGなので活動期間は定めない（最大でも2年）。
- ・若手の参画を強く希望している。WG委員として参加する場合は一定のオブリゲーションを課される。幹事として参加する場合は、運営メンバーの一員として、主として議事録原案の作成を依頼することになるだろう。
- ・複数名の若手で幹事の業務を分担することも可能。自身が担当ではない会合への参加も、WGメンバーの一員であるので当然可能。
- ・「情報発信」は、本件の事故に限定せず、幅広く、事故が起きた後にどういうことが必要なのか、過去の国内外の事故トラブルの経験も踏まえて発信していきたい。今年度末を目安に、その時点までに議論した内容を中間報告的にまとめたい。
- ・若手メーリスで上記の全てを記載しようとするとう誤解を与えかねない。若手メーリスでは簡単に説明し、興味を示して連絡してくれた人に対して個別に説明し、主旨を理解してもらった上で参加してもらった方が良い。

●保物学会 & 安全管理学会連携WG

- ・WGへ参加することのメリットを所属組織に、学会としてアピールしてほしい。
- ・参加する若手に何を期待しているのか。→WGを、将来の放射線防護分野の姿を決めるプラットフォームであると捉えてくれる方に担当していただきたい。

●次回日程

9月22日(水) 9:00-10:00

以上